

文化庁 令和4年度 「文化芸術による子供育成総合事業— コミュニケーション能力向上事業—〈NPO法人等提案型〉」

教員レポート/アンケート集計・児童感想まとめ



＜実施校＞

堺市立原山ひかり小学校 …p5

堺市立光竜寺小学校 …p8

堺市立東深井小学校 …p11

滋賀県大津市立唐崎中学校 …p14

滋賀県大津市立北大路中学校 …p16

滋賀県大津市立伊香立中学校 …p18

沖縄県与那原町立与那原東小学校 …p22

沖縄県石垣市立野底小学校 …p25

沖縄県うるま市立高江洲小学校 …p28

沖縄県糸満市立真壁小学校 …p31

沖縄県南城市立知念中学校 …p34

掲載記事 …p37

コーディネート:NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

〒600-8092 京都市下京区神明町 241 オパス四条 503

TEL: 075-361-4685 FAX: 075-361-6225 E-mail: jcdn@jcdn.org

Web <http://www.jcdn.org/> コミュニティダンスのすすめ on Web: <https://cdj.jcdn.org/>

<初めに>

本事業は、からだを使ったコミュニケーションや創作方法である“ダンス”を通じて、児童生徒の創造力・想像力・コミュニケーション力の向上を目的に、アーティストが学校へ出向いて行う創作ダンス(コンテンポラリーダンス)体験ワークショップです(文化庁の委託事業を JCDN がコーディネート)。

令和4年(2022年)度は、前年度に続いて大阪府堺市・沖縄県・滋賀県大津市の3地域 計11校で実施。1校ごとの教員アンケート・児童感想のまとめページの前に、全体の実施概要とアンケート集計表を加えました。創造的なダンスの授業は年齢問わずたいへん評判が良く、特に教員の方から、「普段は目立たない子が生き生きと自分なりに表現していた」「子供たち同士の関係性が変化した」「普段の授業にも活かせるヒントをいただいた」といった感想をいただくことが多々あります。こんなダンスがあるとは知らなかった!!という驚きの声とともに、一度経験した先生方から再びお申込みいただく事も増えています。

創造的なダンスは、具体的な内容が分かりづらいとか、苦手意識をもっていらっしゃる方もありますが、ぜひ実施された先生方や子供たちの感想に目を通していただき、皆さんの地域の学校授業に取り入れるための参考にしていただければ幸いです。

<実施内容> 開催地/実施順

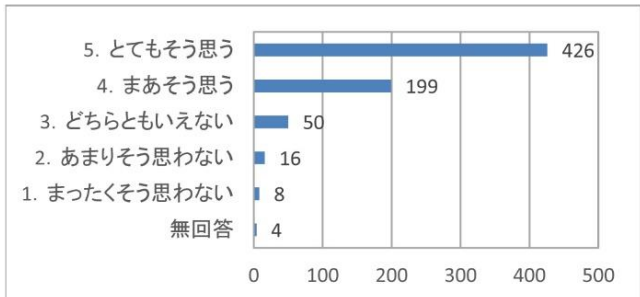
実施日	地域	実施校 (対象児童生徒数)	◎講師 ●補助者	実施内容、児童生徒・先生の反応や感想等
6月8・13・27日	堺市	堺市立原山ひかり小学校 (5・6年生各2クラス 130名)	◎鈴木英理子 ●小堀愛永、庄波希	5・6年の4クラスを45分ずつを1日として3日間実施。授業を通して、自分とひとの身体を知る、自分の身体は自分で守る事を伝え、ペアやグループ組みに工夫しながら様々なワークに取り組み、普段と違う関係作りや無理なく児童の表現を引き出した。 (教員の感想)「コロナ禍で人との距離を取ることが長い間続いているが、今回人とふれあう体験ができたことは、生徒たちにとっては、とても新鮮だったように見えた」「みんなとても生き生きとして見え、あの生徒がこんな動きをするんだとか、本当にちゃんと参加できるだろうかと思っていた生徒が、しっかり場に溶け込んでいた。」
10月25・28日 11月1日	堺市	堺市立光竜寺小学校 (1・6年生各1クラス 42名)	◎小堀愛永 ●庄波希、衛藤桃子	6年生は2校時を使い、1年生は60分程度を1日として、3日間実施。ことばからイメージした個々の動きをグループメンバーでつないだ作品創作して、最後に発表した。 先生との協働がうまく行き、先生からのアイデアをうまく取り入れることができた。
12月6・12・13日	堺市	堺市立東深井小学校 (3年生3クラス 97名)	◎田中幸恵●貫渡千尋、山本和馬	1クラス70分×3クラスを1日として、3日間実施。呼吸を合わせるペアワークや触って抜けて、ティッシュを使ったワークなどを行い、最後は各クラス3チームに分かれて作品創作、ショーイングを行った。(教員の感想)「困難さを抱えた児童が多い地域だが、今回のダンス授業でいくつか児童との関りのヒントが得られた。今後の授業や学校生活に活かしていきたい」
10月13・18・20日	大津市	大津市立唐崎中学校 (2年生4クラス 131名)	◎鈴木英理子 ●小堀愛永、庄波希、高橋芽生子	2校時を使い、2クラス合同×2回(全部で4クラス)を1日として3日間実施。1人1人のポーズで空間構成するグループワークでは、生徒間コミュニケーションの活発化だけでなく、見守る先生方の生徒への声かけも多く引き出すことができた。

10月26日	大津市	大津市立 北大路中学校 (2年生4クラス123名)	◎セレグラフィカ (隅地茉歩・阿比留修一) ●佐藤野乃子、新家綾、西岡樹里、内田結花	中学2年生4クラス123名。通常は3コマを3日間で行うが、特別に1日にまとめて、全員で実施。学年のコミュニケーション力を高めることがねらいで、校外学習として校外の体育施設を借りて実施した。毎年たくさんの反響があり、学校行事として定着させたい希望も伺った。 (教員の感想)「普段は自分からなかなか話せない子も自発的に動いて驚いた」「生徒らは、特にLINEでのトラブルが多い。言葉だと誤解が生まれたりするが、この経験をきっかけに、生徒同士が別の一面を知る機会になったのでは。」「最後のパフォーマンスは感動的!!」「こんな効果があるなら私たち教師も毎日ダンスしたらええんや。」
11月14・16・17日	大津市	大津市立 伊香立中学校 (全校生徒32名)	◎東野祥子 ●松木萌	2校時を使い、全生徒(31人)を対象に3日間実施。自分を表現することに焦点を当てて実施。講師が語るストーリーに反応して動きを考え、リーダーを真似るグループワークでは、生き生きとした個性豊かな表現が生まれていた。 全校生徒対象の授業のため、見守る先生がたくさん来られ、創作ダンスのよさを実感してもらったいい機会となった。
7月11～13日	沖縄県	与那原町立 与那原東小学校 (6年生3クラス103名)	◎田畑真希 ●城森あゆみ、兼城将	6年生3クラス60分ずつを1日として3日間行う。自分で表現することの楽しさと、人と一緒にダンスを作ることの面白さを知ることによって、積極的にコミュニケーションが取れることを目的に行う。事前に先生から聞いていたよりも、とても積極的かつ集中力があり、講師も、予定していたよりももっとハードルの高いことに挑戦した。とても良い雰囲気だった。
9月7～9日	沖縄県	石垣市立 野底小学校 (全校児童21名)	◎マニシア ●DAI(ジャンベ演奏)	全校児童21名合同で、90分×3日間実施。最終回に保護者参観で成果ショーイングを行う。恥ずかしがりが多く、心と体を開放して、子供たちのコミュニケーション能力の向上、自己肯定感を高める機会にする。楽しさから思わず表現が出るようなワークを積み重ねながら、シーンを創っていった。思いのほか「恥ずかしい」の壁が厚い子供たちであったが、日を追うごとに皮がむけて表情も明るくなっていった。 (教員の感想)「もっと緊張するのかなと思ったら、いい方向に向かった。最後の感想も、いつもなら手が挙がらないのに、今日は挙がった。なんでも自由にしているというところが、自分の殻を破るきっかけになった。」
11月29日～12月1日	沖縄県	うるま市立 高江洲小学校 (4年生3クラス89名)	◎赤松美智代、丸山陽子	小学4年生3クラス89名のため、1クラス60分ずつに分けて3日間実施。元気いっぱいだが落ち着きがない集団で、コミュニケーションに関わるワークを多く取り入れた。担任の先生が忙しく、コミュニケーションに苦労した。児童は非常に活発で生き生きと取り組み、素直な身体と創造性をたくさん見せていた。どのワークも楽しかった様子で、授業後に、あんなに話を聞けなかった男の子が、講師のサインをもらうために列を作って並んでいて、微笑ましかった。
12月2・5・6日	沖縄県	糸満市立 真壁小学校 (5・6年生各1クラス55名)	◎知花幸美 ●上原里佳、兼城将	小学5-6年生55名。やや多いため、5年生と6年生で2グループに分かれて計3日間実施した。初日はスクワットや真似ダンスなど運動量の多さにくたびれた様子だったが、それぞれが真面目に取り組み、最終日には殻を破る姿も見られた。
12月7～9日	沖縄県	南城市立 知念中学校 (1年生38名)	◎合田緑 ●根岸由季、城森あゆみ、兼城将	中学1年生38名全員で取り組む。ダンスに抵抗感があるため、「これがダンスなの?」というところから初めて創作を重ねていき最終日にショーイングにチャレンジする。思っていたより反応がよく、初日から短いダンスが仕上がった。ショーイングは他教科の先生方に見ていただいた。初めて取り組んだと思えない出来で、校長先生には「保護者の方にも全員に見ていただきたかった!」、取材に来られた地元紙記者に「今年は特にイキイキしているね!」とほめていただいた。

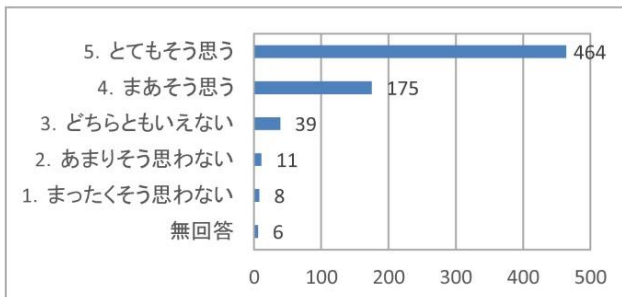
【児童アンケート】 回収 703枚(男328名、女375名、/合計11校中回収できたもの)

質問 ダンスのワークショップに参加してみて、どうでしたか？

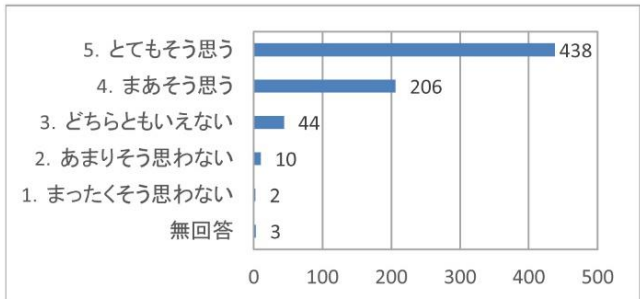
1)満足しましたか？



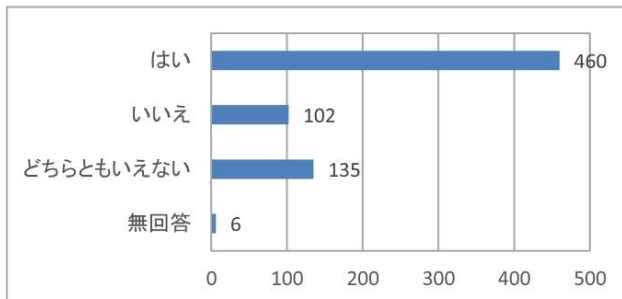
2)楽しかったですか？



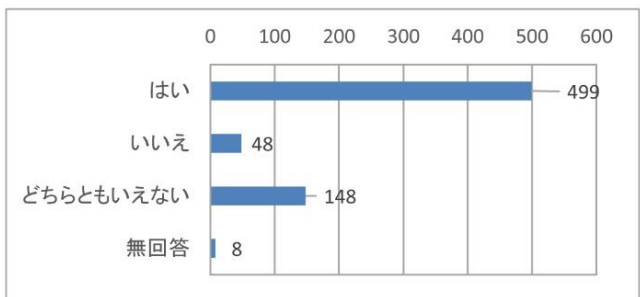
3)説明はわかりやすかったですか？



4)いつもと違う友達の様子を見つけましたか？



5)また参加してみたいですか？

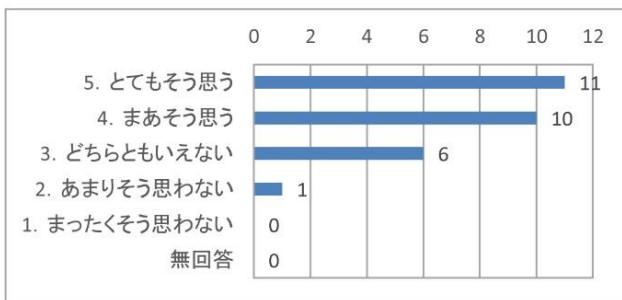
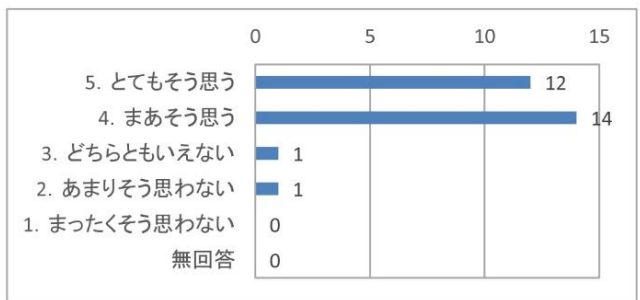


【教員アンケート】 回収 28枚 (計10校)

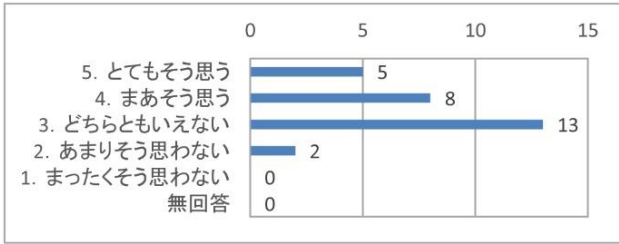
質問① 児童の様子について、下記の項目に1～5段階でお答えください。

1)子供たちの豊かな自己表現がみられた。

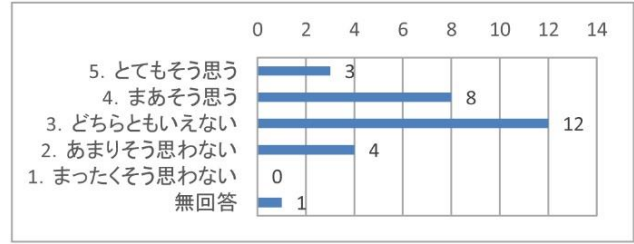
2)普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。



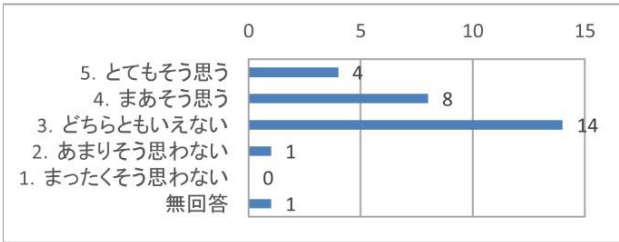
3)子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。



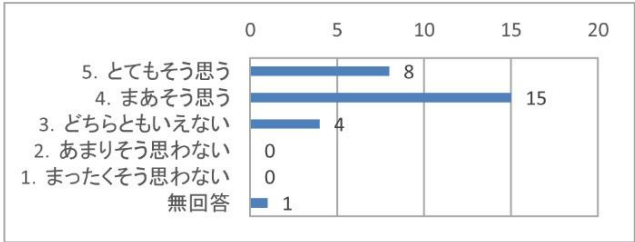
4)クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。



5)以前より協調性が生まれた。

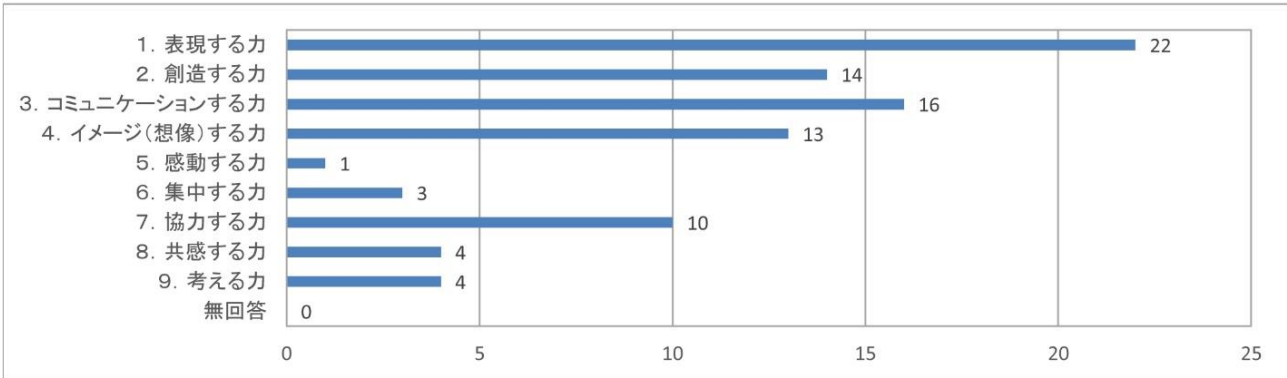


6)今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。



質問② このワークショップが、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思われましたか？

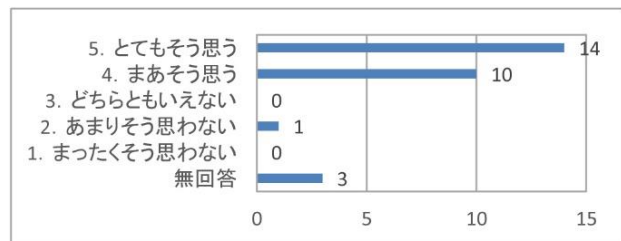
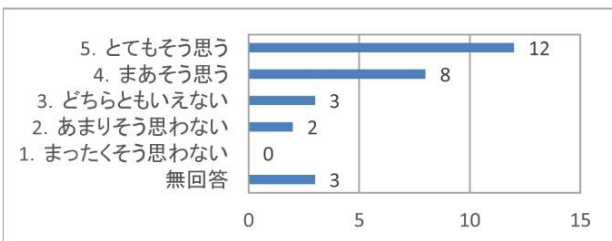
(下記の中から当てはまる上位三つに○をつけてください)



質問③ 先生ご自身について、下記の項目に1～5段階でお答えください。

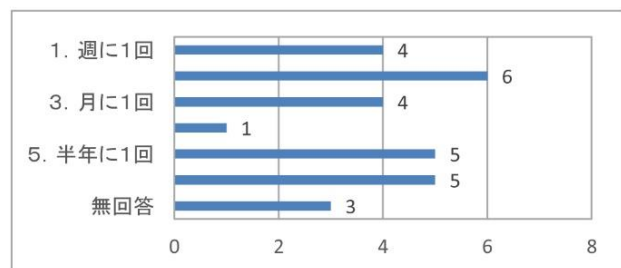
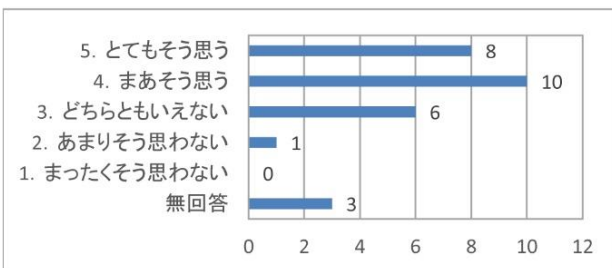
1)ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
普通の授業に活かすためのヒントを得ることができた。

2)いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。



3)今後のクラス運営に役に立つことを得た。

4)どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。



■原山ひかり小学校

レポート「堺市において本事業を実施する必要性」

所属:堺市立原山ひかり小学校

担当:横山 海二

1.現状について(ダンス指導の現状について/当該地域の児童生徒の実態について、等)

何事も一生懸命に取り組むが、主体的に自ら動き出すことが課題である。課題の解決に向けて人権の視点から、「友だちとつながり」について本校では考えているところである。主体的に友だちと関わり合い、多様な考えや意見を聞いたりみたりして、自分の思いをつたえる。その経験の繰り返しによって、自己肯定感が高まり、自信をもって取り組んだり、交流し合ったりできるのではないかと考えている。自信をもつことは主体的に動く原動力になる。この事業は運動をとおしてコミュニケーションをとる、そんな魅力的な事業である。

2.本事業を体験して感じたこと(生徒の変容、など)

この事業の良さは、やはりすべてを肯定してくれるところだ。どんな動きをしても認められる。恥ずかしくて動けなくてもそれはそれで、自己表現として認めてくれる。そんな安心できる環境だからこそ子どもたちはのびのびと友だちと関わり合いながら取り組むことができたと感じた。普段身体をつかって表現することが苦手と感じていた児童も、積極的に活動している姿にこの事業の魅力がつまっていると思う。また、コーディネーターをはじめ、ダンサーとしっかりと打ち合わせをすることができ、より学級に応じた実践をすることができた。

【教員アンケート】回収枚数:4枚

1.実施した学校について

◆全児童生徒数 340名 ◆全クラス数 15クラス ◆全教員数 22名

2.実施した学級について

◆学年 5・6年 ◆男女比 男子: 56名 女子: 74名

◆特徴や雰囲気 相手に自分の気持ちを伝えること、自己表現が苦手

3.この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

・自己表現の楽しさや、友達と関わる活動を通して、コミュニケーションの多様さを感じるきっかけとしたい。

4.この事業を実施してどうでしたか?(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・いつも関わらない子たちがペアになって動いたり話したりしているのを見て、すごく良い機会だと思いました。
- ・初回での食いつきがとても良く、みんないきいきしていた。
- ・思っていた以上に子どもたちが自由に表現し楽しんでいました。

4-2 下記の項目に1~5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- 子供たちの豊かな自己表現がみられた。(4【1名】)
- 普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(5【1名】 4【2名】 3【1名】)
- 子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(4【1名】 3【3名】)
- クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(4【1名】 3【2名】 2【1名】)

- 以前より協調性が生まれた。(4【4名】)
- 今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(5【1名】 4【2名】 3【1名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思われましたか？ (下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力(4名) 2. 創造する力(1名) 3. コミュニケーションする力(4名) 4. イメージ(想像)する力(3名)
5. 感動する力 6. 集中する力(1名) 7. 協力する力(1名) 8. 共感する力 9. 考える力

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください。

- ・ 教室では静かにしている子がのびのびと表現していたり、子どもたちの自由な発想で表現する姿を見られてこちらとしても楽しかったです。
- ・ 学校の授業時や休み時間には見えにくかった部分が見えた。いい部分はもちろん、課題面も。
- ・ 相手のことを考えて動くワークも多く、相手を感じ取ることの面白さや難しさを感じてもらえてとても良かったです。
- ・ 今年の子達の関係性が希薄なので、相手をどう意識させるのかというところを身体を使って感じていたのではないかなと思います。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
 普通の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(5【1名】 4【3名】)
- いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(5【2名】 4【2名】)
- 今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(4【4名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

1. 週に1回(1名) 2. 隔週に1回(2名) 3. 月に1回 4. 学期ごとに1回(1名)
5. 半年に1回 6. 1年に1回

6. 本事業が発展するためのアドバイスがあれば、お書きください。

- ・ この事業の魅力をさらに発信していくことだと思います。よく言えば、行政機関がもっと絡んでくれたらいいのにな・・・と思います。

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

- ・ 急には、子どもたちの変化が見られるのは難しいと思いますが、今回のワークを通して感じたことを生かしてこれから色んな人と関わってほしいと思います。
- ・ 子どもたちに寄り添い、自由に表現を楽しむ時間を提供していただきありがとうございました。
- ・ 学年や学級の実態からワークを考えてくださるところもとても助かりました。
- ・ アーティストと教職員で授業を流す上での困り感の共有をしても面白いかも。

回答者名:横山海二 他3名(原山ひかり小学校 教諭)

◆性別

男	45
女	59

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか？5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか？(無回答1)

5	73人	4	25人	3	2人	2	2人	1	1人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・楽しかったですか？(無回答1)

5	85人	4	13人	3	3人	2	1人	1	1人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか？

5	70人	4	30人	3	2人	2	1人	1	1人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか？(無回答1)

はい	79人	いいえ	12人	どちらでもない	12人
----	-----	-----	-----	---------	-----

◆また参加してみたいですか？

はい	95人	いいえ	2人	どちらでもない	7人
----	-----	-----	----	---------	----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・ダンスはいろいろ自由に動いたらいい、だなと思った。
- ・いろんな動きが見つかりました。それがダンスのように見えました。
- ・普段とは違う友達や、自分を見つけられた。
- ・いろんな人とチームが作れて楽しかったです。
- ・言葉を言わなくてもコミュニケーションが取れる。
- ・じぶんのからだを知ることが大切だとわかった。
- ・みな、人それぞれいろいろな発想があること。
- ・みんなと一緒にすると、仲が良くなるということ。
- ・ダンスもただ、がむしゃらにするんじゃなくて、考えていた。
- ・人によって感じる感じが違うことがわかった。

◆感想を自由に書いてください

- ・コンテンポラリーがこんなに楽しいとは思わなかった。
- ・めっつっつっつちゃたのしかつたし、またやりたいなーと思いました。
- ・普段は体験しないことをしたので新鮮で楽しかった。
- ・最初の先生たちのダンスが衝撃的で、絶対明日、筋肉痛なる！と思って観ました。
- ・自分もみんなもいつもと違う感じでとても楽しかった。
- ・ものすごく楽しくてダンスの先生みたいになりたいと思いました。

レポート「大阪府堺市において本事業を実施する必要性」

所属：堺市立光竜寺小学校

担当：村井 将

1.現状について(ダンス指導の現状について/当該地域の児童生徒の実態について、等)

本市において、体育科の領域内で、一番難しく、指導しにくい領域は表現領域ではないだろうか。明確な数値があるわけではないが、教員の指導への苦手意識や児童の経験不足(学びの積み上げの低さ)から見ても明らかである。私は本市の体育授業を牽引する体育部会に所属しているが、その組織内においても、表現領域の指導に苦手意識を持っている教員は多い。また、児童の知識・技能、表現力を見ていると、体育指導の手引き(本市独自の教員向け指導書)があっても、各学年で適切に学びが積み上げられているとは言えない状況がある。そのような現状において、外部の講師と連携しながら、この領域の学習を進めていくこと、プロや本物に児童が触れることは貴重で、意味のある活動であると考えている。また、学校の中だけで学びを留めるのではなく、外へと開いていくことがこれからの時代を切り開く子どもたちにとって、価値のある活動であると考えている。

本校の児童は素直で人懐っこい子が多い。しかし、家庭環境等から学力が低く、自尊感情が低い児童が多い。関係のある友だちや教員に対しては、思いを伝えることができるが、関係の浅い他者や時間的・空間的に区切られた場(授業)においては、伝える力の低さや自信のなさから、自分の思いを伝えることが困難である。そんな児童にとって、教室ではなく広い空間で動いたり、勝ち負けやできないで判断されたりしない表現運動は、児童の自尊感情を育むであろう。また、言葉だけでなく自分の考えや思いを伝える体験は児童にとって必要不可欠であると考えている。

2.本事業を体験して感じたこと(生徒の変容、など)

休み時間や行事等では子どもらしく活動する子どもたちだが、授業になると消極的で、挙手や発言・反応がないこともしばしば。高学年特有の照れもあるが、臨機応変さのなさや自尊感情の低さなどが理由であると考えている。そんな子どもたちに、本物に出会い、広い世界を知り、様々な表現を知ることで、今の自分にも自信を持ってほしいと思い、本事業に申し込んだ。子どもたちの変容は予想以上だった。初めは恥ずかしさやぎこちなさがあったものの、講師ともすぐに打ち解け、楽しみながら活動する姿が見られた。活動が終わると次の活動の日を聞いてくることから、その充実感が伺えた。3回の活動で、主体的に自分や他者の身体と対話しながら、自分の思いや動きを表現することができていた。

その理由としては3点考えられる。1点目は、講師の先生方の肯定的な態度である。子どもたちのどんな動き、どんな思いも受け止めて、認め、励ましていた。そのことで、子どもたちは安心感を持って活動を進めることができた。それが、動きや表現の高まりに繋がったと考える。2点目は、講師の先生方の模範の動きである。未知の体験、未知の活動に特に消極的な児童にとって見本となる動きは、活動の見通しを上で重要である。また、模範も「そんなのでいいのか」と考える子どもに寄り添ったものを提示してくれることで、子どもたちは初めての活動にも抵抗なく取り組んでいた。3点目はスモールステップで進む活動である。最終日の活動を目標としながらも、「今ある表現」で楽しめるものから、協働したり、挑戦したりしながら、動きを高めていった。そして、最後には子どもたちなりの表現で、協働して一つの作品を創り上げていた。初めからゴールを提示するのではなく、過程を楽しみながら進む活動は子どもたちに寄り添った学習となったことは間違いない。

このように、児童の変容は、本事業の魅力ももちろんであるが、講師の先生方が生み出した部分も大きい。専門的な知識・技能、表現力を持ちながら、子どもたちの特性を即座に理解し、臨機応変かつ温かく接する姿は、子どもたちが学ぶ環境に必要不可欠なものである。私たち教員も、表現運動の専門性だけでなく、子ども理解等において学ぶべきことがたくさんある活動であった。

【教員アンケート】 回収枚数:2枚

1. 実施した学校について

◆全児童生徒数 147名 ◆全クラス数 9クラス ◆全教員数 13名

2. 実施した学級について

◆学年 1・6年 ◆男女比 男子:17名 女子:25名

◆特徴や雰囲気 地域の特徴として片親の児童が多く、自分を表現することが苦手な生徒が多い。

3. この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

・自分を表現する素地を養い、他者とコミュニケーションを取るきっかけとしてほしい。

4. この事業を実施してどうでしたか？(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・ もっと表現できないと思っていました。
- ・ 講師の方の計画、声かけ、関りで楽しんで取り組んでいる様子が見られました。

4-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- 子供たちの豊かな自己表現がみられた。(5【2名】)
- 普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(5【2名】)
- 子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(5【1名】 4【1名】)
- クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(4【1名】 3【1名】)
- 以前より協調性が生まれた。(4【1名】 3【1名】)
- 今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(5【1名】 4【1名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思われましたか？(下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力(2名)
2. 創造する力(2名)
3. コミュニケーションする力(1名)
4. イメージ(想像)する力(2名)
5. 感動する力
6. 集中する力
7. 協力する力(1名)
8. 共感する力(1名)
9. 考える力

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください。

- ・ 打合せからふり返りまで、とても楽しく前向きに取り組むことができました。
- ・ ワークの技術、ダンスの技術はもちろんですが、講師の方々の人柄に私も子どもたちも心を惹かれました。ありがとうございました。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(5【2名】)

●いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(5【2名】)

●今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(5【2名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

1. 週に1回 2. 隔週に1回 3. 月に1回(1名) 4. 学期ごとに1回
5. 半年に1回 6. 1年に1回

6. 本事業が発展するためのアドバイスがあれば、お書きください。

- ・ コンテンポラリーという名前だけで線を引く先生が多いです。先生って新しいものや変化を嫌うので。
- ・ 先生に知ってもらう機会や先生と一緒にするってのも1つの手ですね。

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

- ・ 3日間、ほんとうに、ありがとうございました。

回答者名:村井 将 他1名(光竜寺小学校 教諭)

光竜寺小学校【児童感想まとめ】(回収:39枚)

◆性別

男	15
女	24

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか?5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか?

5	35人	4	3人	3	0人	2	1人	1	0人
---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----

・楽しかったですか?(無回答1)

5	33人	4	4人	3	0人	2	1人	1	0人
---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか?(無回答1)

5	36人	4	2人	3	0人	2	0人	1	0人
---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか?

はい	26人	いいえ	8人	どちらでもない	5人
----	-----	-----	----	---------	----

◆また参加してみたいですか?

はい	34人	いいえ	2人	どちらでもない	3人
----	-----	-----	----	---------	----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・オノマトペができてうれしかった。
- ・みんながいつもより笑顔になっていた。
- ・深呼吸をした時にからだは動いていた。

- ・先生がやさしく、わかりやすかった。
- ・からだでいろんなことが表現できた。
- ・友達のいろんな動きや表情を見れて楽しかった。
- ・自分の表現でダンスを踊る、新しいダンスの仕方を学べてよかった。
- ・体で気持ちを表現できたこと。

◆感想を自由に書いてください

- ・ダンスの先生と仲良くなれた。
- ・楽しかった。
- ・からだが柔らかくなった気がした。
- ・楽しくて時間がすぐに過ぎた。
- ・みんなとダンスを考えていろんなことができてうれしかった。

■東深井小学校

レポート「堺市において本事業を実施する必要性」

所属:堺市立東深井小学校

担当:山田 彰良

1.現状について(ダンス指導の現状について/当該地域の児童生徒の実態について、等)

昨年度も本事業を通してコンテンポラリーダンスを学んでいる。

感情のコントロールが難しい児童が多い。そのため児童同士はもめごとが多く、自尊感情が低い児童も少ない。

2.本事業を体験して感じたこと(生徒の変容、など)

今年度もありがとうございました。

毎年感じることは、このコミュニケーション事業を通して、子どもたちの心がほぐれるということ。勝ち負けやできないではない、子どもたち一人ひとりの表現が認められるコンテンポラリーダンスに魅力と可能性を感じています。授業が終わった後は子どもたちの雰囲気がいつもあたたかなやわらかい雰囲気になります。コロナ禍でかわりが少なかった子どもたちにとって、身体を通して通じ合う経験は貴重なものだったと思います。

また今回のワークショップを通じて思ったことは作品化のよさです。動きに浸る前半に加え、作品化を通して作るおもしろさ、誰かに披露するおもしろさを味わう後半があることで、子どもたちの中に残る経験値は大きく変わると感じました。

ぜひ次年度からの活動でも取り入れていきたいと思っています。ありがとうございました。

【教員アンケート】回収枚数:1枚

1.実施した学校について

◆全児童生徒数 661名 ◆全クラス数 27クラス ◆全教員数 32名

2.実施した学級について

◆学年 5・6年 ◆男女比 男子:46名 女子:51名

◆特徴や雰囲気 いわゆる荒れている学校だが、個々人は天真爛漫で純粋で素直な児童が多い。

3. この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

- ・昨年度の実施でいい学びがあったので、今年度はそれを深め、作品づくりをゴールとしたい。

4. この事業を実施してどうでしたか？(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・子どもたちの普段見られない様子を見ることができ、とてもよかった。

4-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- 子供たちの豊かな自己表現がみられた。(5【1名】)
- 普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(5【1名】)
- 子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(5【1名】)
- クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(5【1名】)
- 以前より協調性が生まれた。(5【1名】)
- 今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(5【1名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思われましたか？(下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力(1名)
2. 創造する力
3. コミュニケーションする力(1名)
4. イメージ(想像)する力
5. 感動する力
6. 集中する力
7. 協力する力
8. 共感する力(1名)
9. 考える力

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください。

- ・コンテンポラリーダンスのよさを再確認することができ、他の授業にも活かせるのではないかと感じた。
- ・ダンスが苦手な先生も、今回一緒に参加することで、コンテンポラリーダンスのよさを理解してもらえたのではないと思う。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(5【1名】)
- いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(5【1名】)
- 今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(4【1名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

1. 週に1回
2. 隔週に1回(1名)
3. 月に1回
4. 学期ごとに1回
5. 半年に1回
6. 1年に1回

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

- ・来年もどうぞよろしくお願いいたします。

回答者名:山田彰良(東深井小学校 教諭)

◆性別

男	45
女	42

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか？5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか？

5	63人	4	19人	3	3人	2	1人	1	1人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・楽しかったですか？(無回答2)

5	67人	4	14人	3	3人	2	1人	1	0人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか？

5	60人	4	20人	3	4人	3	3人	1	0人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか？(無回答2)

はい	64人	いいえ	11人	どちらでもない	10人
----	-----	-----	-----	---------	-----

◆また参加してみたいですか？(無回答2)

はい	71人	いいえ	5人	どちらでもない	9人
----	-----	-----	----	---------	----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・からだの中でのことを先生たちが教えてくれたり、観察できてすごくいい気分になってうれしかったです。
- ・からだでこんな動きができるなんて思っていなかったけど、できたからすごいなーと思いました。
- ・近くで踊ったから、友達と仲よくなった。
- ・私はダンスが好きだから、教えてもらえてうれしかった。
- ・いつもと違う自分を発見できたことがなによりうれしかった。友達との違いも見つけられた。
- ・ダンスは1人でやるんじゃなくて、みんなで1つのダンスにするんだなあと思った。
- ・人それぞれ個性があつていいと思いました。
- ・いつもしている動きがダンスになると知った。
- ・自分のからだの中がどのようになっているのか、想像するのがとても楽しかった。
- ・いつもおとなしい子が楽しそうにダンスを踊っていたのを見ました。みんなが楽しくできるんだと思った。

◆感想を自由に書いてください

- ・面白くて満足したけど、たったの3日しかなかったから、もっとやりたいです。
- ・ダンスが好きだから、また参加してみたいです。楽しかったです。
- ・いろいろなものでダンスができるって知った！
- ・コンテンポラリーダンスをしているだけで、みんなが楽しそうに笑っていた。すごいなと思った。
- ・発表会は少し緊張したけど、めちゃくちゃ楽しかった。
- ・踊ると体も暖かくなっていくので、またやりたいです。
- ・教え方が上手でわかりやすかったです。

■唐崎中学校

【教員アンケート】回収枚数:1枚

1. 実施した学校について

◆全児童生徒数 401名 ◆全クラス数 15クラス ◆全教員数 29名

2. 実施した学級について

◆学年 2年 ◆男女比 男子:71名 女子:60名

◆特徴や雰囲気

ここ数年、不登校生徒が増えてきている。コロナの影響か、集団になじめない生徒もいる。

3. この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

- ・グループ活動以外に、1人でも自信をもって取り組めるようになってほしい。

4. この事業を実施してどうでしたか？(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・日頃、学校生活を共に過ごしている、クラスメートの新しい一面を発見することができたと思う。
- ・自分の考えを身体で表現することの楽しさやむずかしさを感じることができた。

4-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- 子供たちの豊かな自己表現がみられた。(5【1名】)
- 普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(4【1名】)
- 子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(3【1名】)
- クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(4【1名】)
- 以前より協調性が生まれた。(5【1名】)
- 今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(4【1名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思われましたか？(下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力(1名)
2. 創造する力(1名)
3. コミュニケーションする力
4. イメージ(想像)する力(1名)
4. 感動する力
6. 集中する力
7. 協力する力
8. 共感する力
9. 考える力

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください。

- ・今までダンス表現の授業に、難しさを抱えていたが今回の授業を見させていただき、子どもたちの表現を引き出す方法を学ぶことができたので、自分自身とても学ぶことが多かった。
- ・子どもたちの新たな良さを見ることもでき、生徒理解にも生かすことができた。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(5【1名】)
- いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(5【1名】)
- 今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(4【1名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

- 週に1回
- 隔週に1回
- 月に1回
- 学期ごとに1回
- 半年に1回(1名)
- 1年に1回

6. 本事業が発展するためのアドバイスがあれば、お書きください。

- ・学級担任にも全ての授業をみていただくことでクラスの子供たちの成長や新たな一面をみていただくことができると思います。

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

- ・子どもたちとの距離も近く授業をしていただき、子どもたちは意欲的に取り組むことができました。

回答者名:小原逸平 (唐崎中学校 教諭)

唐崎中学校【児童感想まとめ】(回収:102枚)

◆性別

男	59
女	53

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか?5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか?

5	37人	4	48人	3	20人	2	6人	1	1人
---	-----	---	-----	---	-----	---	----	---	----

・楽しかったですか?

5	46人	4	50人	3	12人	2	1人	1	3人
---	-----	---	-----	---	-----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか?

5	52人	4	50人	3	9人	2	0人	1	1人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか?

はい	56人	いいえ	20人	どちらでもない	36人
----	-----	-----	-----	---------	-----

◆また参加してみたいですか?

はい	55人	いいえ	14人	どちらでもない	43人
----	-----	-----	-----	---------	-----

- ◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。
- ・普段、仲良くしている人だけでなく、みんなでできたので、倍楽しかった。
- ・言葉で言えないことを体で表現できることを知りました。
- ・自分の気持ちをからだで表現できるということを知った。
- ・いつもと違う意外な一面の友達の姿が見れました。
- ・先生方の体験談から、いつもは話さない友達でもダンスをすると少し仲良くなると感じた。
- ・恥ずかしがりやで人前に出れない私が、ダンスによってうれしい発見ができた。
- ・クラスの人達とこんなにも楽しく活動できるんだということを見つけた。
- ・細かい動き1つ1つで印象が変わる、ということを見つけた。
- ・自分らしさを表すことができる。
- ・ダンスで人はつながれる。

◆感想を自由に書いてください

- ・人と協力し合って助け合う大切さがわかった。
- ・友達と一緒に活動するのはとても楽しかった。
- ・コンテンポラリーダンスの自由さと素晴らしさを知ることができた。
- ・自分が知らなかった友達の良いところを見つけられてとてもよかった。
- ・思ってたダンスと違った。
- ・苦手だったけれど、とても楽しかった。

■北大路中学校

レポート「滋賀県大津市において本事業を実施する必要性」

所属：大津市立北大路中学校

担当：沓水 恵奈

1.現状について(ダンス指導の現状について／当該地域の児童生徒の実態について、等)

大津市の教員になって 20 年ほどになるが、年々生徒たちのコミュニケーション能力が低下してきているように感じる。生徒同士の交流でも、言葉の行き違いなどからトラブルにつながることが多い。また、生徒たち自身も言葉のやり取りからトラブルになる経験を何度しているの、自分の意見を相手に伝えたり、積極的に他者に関わろうとしたりしない傾向がみられる。

体育の授業でのダンス指導については、生徒たちはアイドルや投稿動画のダンスをそのまま真似するばかりで、自分たちで何かを創造することはあまりない。よって、見本のダンスをいかにうまく真似できるかに子供たちの評価基準があり、上手に踊れない生徒は初めから委縮して踊ることに挑戦しづらい状況にある。

2.本事業を体験して感じたこと(生徒の変容、など)

生徒 123 人で県立体育館で一日で実施したが、実施前は生徒たちはコンテンポラリーダンスに対して、ヒップホップなどのダンスが得意な生徒もそうでない生徒も、否定的なイメージを抱いている生徒が多かった。しかし、実際体験してみると、どちらの生徒からも肯定的な感想が多くみられた。初めは身体を使ってどのような表現をすればいいかわからず、動けなかった生徒たちも、正解の型のないコンテンポラリーダンスならば、どんな表現をしても相手に否定されることがないことに気づき、少しずつ表現することができるようになっていった。

また、動きのリレーで相手が何を伝えようとしているのか、相手の動きを読み取るべく、相手の気持ちを想像しながら相手を見る経験ができたことがとてもよかった。普段「相手に伝わっているはず」「言ったのにわかってく

れない向こうが悪い」「そんな意味で言ってるとは思わなかった」などと言っている生徒たちから、「きちんと伝えてるつもりでも上手に伝わらなくて困った」「普段のコミュニケーションでも、伝えようとする気持ちと読み取ろうとする気持ちの両方が大切だと気付いた」などの感想が見られた。普段の学校生活でも、同じような内容は伝え続けているが、ダンスという手段を用いたことでよりわかりやすく実感できたようだ。

以上の点から、コンテンポラリーダンスは生徒のコミュニケーション力向上により指導手段だと考える。また、これらのことを普段接している学校教員ではなく、外部のプロのダンス指導者からしっかりと指導プランのもとで教わることで、より説得力を持って生徒に伝わったと思われる。ぜひ、この事業も次年度以降も継続してほしい。

【教員アンケート】回収枚数:0枚

※アンケートの回答が得られなかったため、事前打合わせからのデータを掲載しています。

1. 実施した学校について

◆全児童生徒数 345名 ◆全クラス数 15クラス ◆全教員数 28名

2. 実施した学級について

◆学年 2年 ◆男女比 男子:65名 女子:58名

◆特徴や雰囲気

人前に出たがらない生徒が多く、一定の仲間としか付き合わない。不登校生徒も一定数いる。

3. この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

・体を使ったコミュニケーションや創作ダンスを通して一人一人の個性を引き出し、多様な価値観や他者との協同などについて学ぶ機会をつくり、互いの存在を認め合うことをねらいとして、2018年より3回実施させていただき、毎回とても好評だったため。

・学年全体のコミュニケーションを促しふれあう機会にするため。

北大路中学校【児童感想まとめ】(回収:99枚)

◆性別

男	52
女	47

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか？5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか？

5	34人	4	45人	3	12人	2	5人	1	3人
---	-----	---	-----	---	-----	---	----	---	----

・楽しかったですか？

5	41人	4	39人	3	14人	2	3人	1	2人
---	-----	---	-----	---	-----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか？

5	34人	4	44人	3	16人	2	5人	1	0人
---	-----	---	-----	---	-----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか？

はい	61人	いいえ	13人	どちらでもない	25人
----	-----	-----	-----	---------	-----

◆また参加してみたいですか？(無回答1)

はい	41人	いいえ	11人	どちらでもない	46人
----	-----	-----	-----	---------	-----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・友達のいいところがたくさん発見できた。
- ・ダンスが楽しくて、ストレスが減ってよかったです。
- ・一回一回違うダンス、一回一回が貴重なんだと気づいた。
- ・動きのスピードで表現を変えられたこと。
- ・クラス関係なく、他のクラスとの交流ができるいい体験をした。
- ・ダンスを通して意思疎通することの楽しさに気づいた。
- ・誰でもできるダンスで楽しかった。
- ・何かを体で表現するっておもしろいと思った。
- ・友達の新しい面を発見した。
- ・あまり話したことない人とも話ができ、体験授業も大事だと思った。

◆感想を自由に書いてください

- ・いつもとは違う、友達の姿を見れて楽しかった。
- ・楽しすぎてすぐ終わってしまい、先生とももっとお話したかった。
- ・ダンスの経験がなかった自分でも、楽しく取り組めてとてもよかった。
- ・たまにはこういうのをするのもいいなあ、と思った。
- ・ダンスの豊かさがわかった。
- ・少し恥ずかしいところもあったけど、たくさん笑えました。
- ・クラスの人、別クラスの人、2年全体で学習できたのが楽しかった。

■伊香立中学校

レポート「滋賀県大津市において本事業を実施する必要性」

所属：大津市立伊香立中学校

担当：渡邊 圭祐（教頭）

1.現状について(ダンス指導の現状について/当該地域の児童生徒の実態について、等)

本校は、ダンス部があり、全校生徒32名中9名、約3割の生徒が所属している。生徒のダンスへの興味・関心は高く、平成30年度と令和元年度には、ダンスコンクール西日本大会に出場し、「銀賞」「審査員奨励賞」を受賞した経験もある。

また、令和3年度には、文化庁の「文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演事業一」において、全校生徒が「現代舞踊 ヒップホップダンス」を体験しており、ダンス部のみならず、全校生徒にとってダンスは身近な存在となっている。

ところが、全校生徒32名の小規模校のため、学校選択制により半数程度の入れ替えはあるものの、中学校入学後の3年間クラス替えがなく、人間関係が膠着化する傾向にあり、コミュニケーション能力に課題がある生徒も多い。

2.本事業を体験して感じたこと(生徒の変容、など)

講師の先生のご指導や本事業のプログラムのおかげで、生徒は身近で興味・関心の高い「ダンス」を通して、生徒一人ひとりが本来持っている個性を出すとともに、多様な価値観や他者との協同体験を学ぶことができた。

当初、生徒はいつも踊っているヒップホップダンスとは違うダンスに戸惑いを見せてはいたものの、3日間のワークショップを通して、徐々に自らを解放し自由に自己表現ができるようになっていった。

生徒は楽しんで活動できたようで、「身体全体で表現できる楽しさを発見できた」「次第に頭の中に湧き上がってきたイメージを身体で表現できれば良いと気付けた」と表現することの楽しさに気付くことができた。

また、3日間のダンスワークショップを通して、「ありのままの自分を発見できた」「小学校の時より素の自分を出せたような気がする」と、新たな自分を発見することにもつながった。さらに、「人それぞれのダンスには個性があって見ていると楽しかった」「友達の普段見られない所を見られて良かった」と、友達の良さや互いの価値観に触れる貴重な機会となった。

【教員アンケート】回収枚数:11枚

1.実施した学校について

◆全児童生徒数 32名 ◆全クラス数 4クラス ◆全教員数 10名

2.実施した学級について

◆学年 全校生徒 ◆男女比 男子:7名 女子:25名

◆特徴や雰囲気

小学校からの同じ集団で人間関係が膠着化し、自分を表現することが苦手な生徒が多い。

3.この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

・生徒それぞれの個性を引き出し、多様な価値観や協同体験を学ぶ場としたい。

4.この事業を実施してどうでしたか？(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・“自由に表現する”妨げにならないよう、あまり説明されなかったのかもしれないが、初日、戸惑う生徒が多かった。3日目になると「これでいいんだ」と恥ずかしながらもダンスに打ち込む姿がありましたが、ダンスへの苦手意識は大きいようでした。
- ・ダンスという固定概念からか、最初は戸惑いが大きかったように思う。
- ・日を重ねる毎に、自分から動いたり、動こうとする姿が見られました。
- ・走ったり、倒れたりと全身を使っての動きを2時間連続だったので、疲れた様子も見られた。
- ・回を重ねる毎に表情や動きも柔らかくなり、楽しんで体験授業を受けていたように感じた。
- ・新しい一面を見ることができた。
- ・コンテンポラリーダンスを初めて知る生徒も多く、最初は戸惑いが見えたが、笑顔でのびのび動く姿も見られるようになり、よかったと思います。

4-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

●子供たちの豊かな自己表現がみられた。(5【4名】 4【6名】 3【1名】)

●普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(5【2名】 4【4名】 3【5名】)

●子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(5【1名】 4【2名】 3【7名】 2【1名】)

●クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(4【4名】 3【6名】 2【1名】)

●以前より協調性が生まれた。(4【4名】3【7名】)

●今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(5【1名】4【7名】3【3名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと
思いましたか？(下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力(7名)
2. 創造する力(7名)
3. コミュニケーションする力(4名)
4. イメージ(想像)する力(6名)
5. 感動する力(1名)
6. 集中する力(1名)
7. 協力する力(4名)
8. 共感する力(1名)
9. 考える力(2名)

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください。

- ・ 生徒の楽しそうな顔を見るとよかったなと思います。
- ・ 一緒にダンスに取り組んで楽しんでいる様子を見て、何らかの取り組みを継続できればと思います。
- ・ 初めは、表現をためらう子が多く大丈夫かと思ったが、終わってみれば、普段見られなかった姿が見え、成長を感じました。
- ・ 生徒達のいろいろな動き表情が見れてよかったです。それぞれが自分の心を開放できたように思いました。
- ・ 説明が少なく、生徒達も表現してと言われてもイメージできるものばかりではない。
- ・ 後半になるにつれ、のびのびと動く姿が見られるようになり、少し殻が破れたのではないかな。
- ・ 生徒同士の表現、互いに認め認められる様子がとてもよい事業だと感じた。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

●ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、

普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(5【2名】4【2名】3【3名】2【2名】)

●いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(5【3名】4【5名】2【1名】)

●今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(5【2名】4【1名】3【5名】2【1名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

1. 週に1回(1名)
2. 隔週に1回(1名)
3. 月に1回(1名)
4. 学期ごとに1回
5. 半年に1回(3名)
6. 1年に1回(2名)

6. 本事業が発展するためのアドバイスがあれば、お書きください。

- ・ ダンスもいろんなジャンルがあるといいですね。
- ・ 事前にイメージを高めておけるようなトレーニングがあれば、初回の授業に不安なく参加できると思います。
- ・ はじめに目標等の説明がないと、生徒たちの戸惑いが大きかったのではないかな。
- ・ 活動途中でこの活動の意義などについて説明が入るともっとよかったかもしれません。

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

- ・ ニュアンスで受け取るのが苦手な子もいるので、もう少し指示を分かりやすくしていただきたい。
- ・ 子どもたちは新しい自分に気付けたのではと思います。
- ・ 本物に触れる体験をこれからも大切にしていきたいと考えています。
- ・ 本校はダンスが好きなお子が多いので、とてもいい刺激になりました。

回答者名:渡邊圭祐 他10名 (伊香立中学校 教諭)

伊香立中学校【生徒感想まとめ】(回収:27枚)

◆性別

男	5
女	22

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか？5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか？

5	19人	4	5人	3	3人	2	0人	1	0人
---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----

・楽しかったですか？

5	21人	4	4人	3	1人	2	1人	1	0人
---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか？

5	17人	4	7人	3	3人	2	0人	1	0人
---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか？

はい	22人	いいえ	2人	どちらでもない	3人
----	-----	-----	----	---------	----

◆また参加してみたいですか？

はい	20人	いいえ	1人	どちらでもない	6人
----	-----	-----	----	---------	----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・友達の普段見れないところを見れてよかった。
- ・グループの人たちと協力してできたからよかった。
- ・決まった動きがなく、とても自由なので、自分を表現しやすいと思いました。
- ・難しかったが、友達とやっているとだんだん自然にできるようになった。
- ・ダンスには豊かな想像力と楽しめる心が大切だと思った。
- ・忘れかけていた小さい頃の感覚が取り戻せる感じがしてうれしかった。
- ・結構頭を使うダンスで、自由に踊るのも難しかった。
- ・ありのままの自分を発見できた。
- ・このような形のダンスがあるというのを初めて知りました。
- ・自分で考えたダンスを踊ることも楽しいと、発見できた。

◆感想を自由に書いてください

- ・人それぞれのダンスには個性があって見ていると楽しかった。
- ・何事にも挑戦したことで、楽しく気持ちを表現できました。
- ・初めてだったがとても面白く、みんなが笑顔になれたのでよかった。
- ・自分は違うダンスをやっているのでも初めはどうしたらいいかわからず緊張したが、最後には楽しむところまで行っていったのがよかった。
- ・どんな動きをすればいいのかだんだんわかってきて、グループの時はたくさん笑うほど楽しかった。
- ・自由に踊ることができてとても楽しかった。
- ・小学校の頃と比べると、すごい素の自分をさらけ出せたような気がした。

■与那原東小学校

レポート「沖縄県与那原町において本事業を実施する必要性」

所属:与那原町立与那原東小学校

担当:城間恵美

1.現状について(ダンス指導の現状について/当該地域の児童生徒の実態について、等)

ダンス指導の現状としては、運動会の時が主で、4年生ではソーラン節、5年生では縄跳びダンス、6年生ではエイサーに取り組んだ。

児童の実態としては、全体的にシャイな子が多く、表現することが苦手で人前に出ようとしにくい。友達同士ではダンスもしたりするが、人目を気にして自分を出すことができない。自分に自信が持てず、自己肯定感の低い児童が多い。男女・クラスの仲は悪くはないが、積極的ではない。授業中のグループ活動では、楽しんでいる様子が見られる。また、男女ペアも嫌がることなく取り組める。コミュニケーション能力の低さはコロナ禍の影響もあるかもしれない。

2.本事業を体験して感じたこと(生徒の変容、など)

子どもたちは、初めは緊張していたが、徐々に緊張も解け、とても素直に動いてくれていたので安心した。いつもはあまり動かない子どもたちが講師の指導の下、あのように動いていることに驚いた。1日目、二日目と回を重ねていくごとに子どもたちの個性も出てくるようになっていった。氷の動きがとても集中していて良かった。講師の声かけの言葉によって、子どもたちの発想力が豊かになり、友達と丁寧に接し、大切にすることが芽生えてきたように感じた。コミュニケーション能力が高まってきた。リードする側が、何をどのように伝えるかが大切なんだと勉強になった。3日間どのクラスも大変集中して臨むことができた。最後はかなりハードルの高いワークにも取り組んだが、みんなが誰一人外れることなく、最後まで対応できたのはすごいことだと思った。この3日間で、子ども同士の向き合う姿勢の変化が見られ、児童だけでなく、教師にとっても多くの学びと収穫があった。これまで関わりが少なかった子どもたち同士が、この授業を通して新たに繋がることのできたことはとても大きなことであった。

【教員アンケート】回収枚数:1枚

1.実施した学校について

◆全児童生徒数 679名 ◆全クラス数 34クラス ◆全教員数 36名

2.実施した学級について

◆学年 6年 ◆男女比 男子:44名 女子: 59名

◆特徴や雰囲気

自己肯定感が低く、表現が苦手で、人前に出るのを避けたがる。

3.この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

・自分の事を表現するのが苦手な子どもが多いので、心も体も解放される体験を味わせてやりたい。

4.この事業を実施してどうでしたか?(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・日をおうごとに表情がほぐれて楽しんでいる様子が見られました。
- ・毎回ちがうペアをつくる際にも自分から進んで友だちに声をかけてペアづくりをしている姿がとてもほほえましかった。

4-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- 子供たちの豊かな自己表現がみられた。(5【1名】)
- 普通に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(5【1名】)
- 子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(4【1名】)
- クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(5【1名】)
- 以前より協調性が生まれた。(5【1名】)
- 今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(5【1名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思われましたか？(下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力 2. 創造する力 3. コミュニケーションする力(1名) 4. イメージ(想像)する力
5. 感動する力 6. 集中する力(1名) 7. 協力する力(1名) 8. 共感する力 9. 考える力

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください。

- ・ 表現が苦手な子たちへのアプローチの仕方がわかった(無言からのスタート→動きで相手に伝えていく等)。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(5【1名】)
- いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(5【1名】)
- 今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(5【1名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

1. 週に1回(1名) 2. 隔週に1回 3. 月に1回 4. 学期ごとに1回
5. 半年に1回 6. 1年に1回

6. 本事業が発展するためのアドバイスがあれば、お書きください。

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

- ・ 3日間、暑い中全力で指導してくださり、ありがとうございました。

回答者名:城間恵美(与那原東小学校 教諭)

与那原東小学校【児童感想まとめ】(回収:85枚)

◆性別

男	32
女	53

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか？5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか？(無回答 3)

5	70人	4	12人	3	0人	2	0人	1	0人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・楽しかったですか？(無回答 2)

5	74人	4	8人	3	1人	2	0人	1	1人
---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか？(無回答 2)

5	64人	4	17人	3	1人	2	1人	1	0人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか？(無回答 2)

はい	63人	いいえ	10人	どちらでもない	10人
----	-----	-----	-----	---------	-----

◆また参加してみたいですか？(無回答 3)

はい	79人	いいえ	2人	どちらでもない	1人
----	-----	-----	----	---------	----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・色々な動きができるし、動きやポーズだけで何かを伝えられることが分かりました。
- ・自分が色々なことに挑戦ができるようになった。
- ・友達と一緒にたくさん動いて、友達のいい所などを発見できました。
- ・一緒にダンスをして、あまりしゃべらなかった子とかと気が合ったりして楽しかった。
- ・こういうなんか不思議なダンスもあるんだなと思いました。
- ・恥ずかしがってやるより楽しんでやった方が面白い。
- ・異性とも一緒にできた。ダンスは男女関係なく楽しめたのがよかった。
- ・自分に自信がもてるようになる。
- ・人とコミュニケーションを取ると、仲が深まるという事が分かりました。
- ・言葉を使わなくても、心が1つになって進められることがわかった。

◆感想を自由に書いてください

- ・あまりしゃべった事もない友達とできてよかった。
- ・とても面白い先生方とダンスや表現運動がやれてうれしかったし楽しかった。
- ・今までやったことのない授業でとても楽しく、またやりたいと思いました。
- ・私は今までみんなの前でからだを動かすことが苦手だったけれど、みんなもやっているからどうどうと動かせて楽しかった。
- ・人と協力することや体を動かす事は楽しく、気持ちのいいことだとわかった。
- ・休み時間あんまりしゃべらない人とも仲良くなれた気がしました。
- ・これからは周りを気にせず、恥ずかしがらず、授業などで発言していきたいです。

■野底小学校

レポート「沖縄県石垣市において本事業を実施する必要性」

所属：石垣市立野底小学校

担当：北田 憲司（教頭）

1.現状について(ダンス指導の現状について／当該地域の児童の実態について、等)

本校は複式3学級、特別支援学級2学級で全児童20名の離島北部にあるへき地校である。少人数であるため、学級内では発言できても、大人数の場での発表や表現になると、恥ずかしさや緊張感が先に立ち、急に大人しくなって発表するのを尻込みしてしまう児童が多く、発言する声も小さい。また、コミュニケーション活動が求められる学習の場においても、言葉数が少なかったり、少人数のため活発な意見の交流ができなかったりするという現状にある。

本校では、昨年度より学力向上を目指すための土台として「自己肯定感を高める」ことに重点を置き、「対話の充実を通して自他を認め合い、目標達成に向けて努力する子の育成」をテーマに校内研究を進めてきた。しかしながら、自己肯定感を高めるための具体的な取り組みを教育活動の中でどのように具現化していくかが依然として課題になっている。

校内でのダンス指導においては、運動会で披露するエイサーの時間に限られており、児童は決まった表現(動作)を覚えるだけのものとなっていて、自由に自己表現をする体験活動からは程遠い内容と言える。今回のダンス体験ワークショップから何かを学ぶことで、児童のコミュニケーション能力の向上および自己肯定感を高める良い機会になればと思います、本ワークショップの実施を希望した。

2.本事業を体験して感じたこと(児童の変容、など)

【教師の感想】

- ・(子どもたちは)自分を自由に表現することや表現できることに喜びを感じることができた。最後の発表のダンスを見てそう感じた。人前で踊るという恥ずかしさは大人でもなかなか拭い去ることはできないが、一緒にやっていくうちに少しずつほぐれていくのだなと感じた。
- ・子どもたちの成長を感じ取ることでできるよい事業だと思います。普段の授業では見られない新鮮さがありました。教室では見ることでできない姿が見られてよかったです。
- ・これまでやったことのない動きをいろいろ体験することができた。自由に想像を膨らませて思いっきり動いていた1年生を見て体育の授業に取り入れたいと思った。
- ・ダンスという形で自己表現ができることの良さや素晴らしさ、また、もっと自由に生き生きと表現して構わないんだという、子どもたちが自分の殻を破って踊る姿が印象的でした。このような自己肯定感を高められる活動を続けてほしい。ダンサーや奏者との出会いは私たちも含めてかけがえのない出会いだと思います。

【教員アンケート】回収枚数:4枚

1.実施した学校について

◆全児童生徒数 21名 ◆全クラス数 5クラス ◆全教員数 7名

2.実施した学級について

◆学年 全校児童 ◆男女比 男子:10名 女子:11名

◆特徴や雰囲気 小規模校で、全学年ともおとなしい。

3. この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

- ・コミュニケーション能力の向上、自己肯定感を高める良い機会にしたい。

4. この事業を実施してどうでしたか？(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・自分を自由に表現することや、表現できることに喜びを感じることができたと思う。
- ・児童一人一人の個性を少しずつ出せている姿や、みんなと協力して1つのダンス・音を作り出す姿を見ることができた。
- ・普段体育の授業では飛び出してしまう児童が参加する姿が見れて、そして一番は楽しそうに体を動かしている笑顔が生まれていて感動した。
- ・初めははずかしがって前にも出ることができずにいた子たちでしたが、リズムとダンスははずかしさはありながらも一生懸命やっていた。

4-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- 子供たちの豊かな自己表現がみられた。(5【2名】4【1名】2【1名】)
- 普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(5【2名】4【1名】2【1名】)
- 子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(5【1名】4【2名】3【1名】)
- クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(4【1名】3【2名】)
- 以前より協調性が生まれた。(4【3名】)
- 今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(5【2名】4【1名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思われましたか？(下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力(3名)
2. 創造する力(1名)
3. コミュニケーションする力(2名)
4. イメージ(想像)する力
5. 感動する力
6. 集中する力(1名)
7. 協力する力(3名)
8. 共感する力(1名)
9. 考える力(1名)

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください

- ・今回の発見や気づきをかき取りにして、他の生活場面で自己表現することの楽しさ、すばらしさを発揮できれば良いと思った。
- ・子どもたちの成長を感じ取ることができる良い事業。普段の授業にはない新鮮さがありました。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(5【2名】4【1名】)
- いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(5【2名】4【1名】)
- 今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(5【2名】4【1名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

1. 週に1回(1名)
2. 隔週に一回(1名)
3. 月に1回
4. 学期ごとに1回

5. 半年に1回(1名) 6. 1年に1回(1名)

6. 本事業が発展するためのアドバイスがあれば、お書きください。

- ・すべての行動を肯定的に受け止めて下さって有難かったです。
- ・子どもたちが自分の殻を破って自己肯定感を高められる活動を、ぜひ今後も続けてほしい。

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

- ・一人一人の個性、自分がすごいと思えばそれは素晴らしいこと、勉強になりました。
- ・アーティストの方もコーディネーターの方も子どもたちにとってはかけがえのない良い機会を与えていただいたので、可能なら次年度も依頼したいです。

回答者名:宇根香代子 他3名 (野底小学校 教諭)

野底小学校 児童感想まとめ】(回収:14枚)

◆性別

男	4
女	10

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか?5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか?

5	7人	4	7人	3	0人	2	0人	1	0人
---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

・楽しかったですか?

5	6人	4	7人	3	1人	2	0人	1	0人
---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか?

5	10人	4	4人	3	0人	2	0人	1	0人
---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか?

はい	9人	いいえ	3人	どちらでもない	2人
----	----	-----	----	---------	----

◆また参加してみたいですか?

はい	9人	いいえ	2人	どちらでもない	3人
----	----	-----	----	---------	----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・からだをこんなにたくさん動かせるんだなど、知りました。
- ・ふりつけがないことにびっくりした。
- ・自由に踊っていいというところがおもしろい。
- ・いろんなダンスのやり方があるのを知れてよかった。
- ・みんなにいろんな特技があることを知れた。

- ・自分に自信が、意外にあった。
- ・ほんきの踊りは迫力が違うと思った。

◆感想を自由に書いてください

- ・ダンスを続けて上手になりたい。
- ・からだを動かして楽しかった。
- ・ダンスをしたらからだがスッキリした。
- ・少し不安だったけど、決まりとかがなくて楽しくできた。
- ・最初は恥かしかったけど、だんだん緊張がとけて楽しくできた。
- ・少し自分に自信がついた。

■高江洲小学校

【教員アンケート】回収枚数:1枚

1. 実施した学校について

◆全児童生徒数 650名 ◆全クラス数 30クラス ◆全教員数 28名

2. 実施した学級について

◆学年 4年 ◆男女比 男子:45名 女子:44名

◆特徴や雰囲気

元気いっぱいだが幼さが残り、特に男子はトラブルを起こす。

3. この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

- ・楽しくからだを動かす活動を通して、お互いの事を知ったり、1つの目標をみんなで達成したい。

4. この事業を実施してどうでしたか？(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・楽しんで参加していた。
- ・開放された感じがあった。

4-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- 子供たちの豊かな自己表現がみられた。(4【1名】)
- 普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(5【1名】)
- 子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(2【1名】)
- クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(2【1名】)
- 以前より協調性が生まれた。(2【1名】)
- 今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(4【1名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思われましたか？(下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力(1名)
2. 創造する力
3. コミュニケーションする力(1名)
4. イメージ(想像)する力
5. 感動する力
6. 集中する力
7. 協力する力(1名)
8. 共感する力
9. 考える力

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください。

- ・ 楽しく活動しながら相手との距離を縮めていくことができ、心身ともに解放されていけるワークショップがとてもよかったです。
- ・ 自然に話し合いが生まれるところがとてもよかった。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(5【1名】)
- いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(5【1名】)
- 今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(4【1名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

1. 週に1回
2. 隔週に1回
3. 月に1回
4. 学期ごとに1回
5. 半年に1回
6. 1年に1回(1名)

6. 本事業が発展するためのアドバイスがあれば、お書きください。

- ・ 低学年から継続的に行えば、抵抗なく誰とでも接することができるのかもしれませんが。
- ・ 相手を思いやったり、優しさに気付いたりできる内容がもっとあるといいと思いました。

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

- ・ 1人1人の子ども達の見取りの上で、子ども達に合ったワークショップを考えて下さったことに感謝します。
- ・ 本気の演技でパフォーマンスをして下さったので、子ども達もはずかしさから解放されつつありました。

回答者名: 山川涼子 (高洲江小学校 教諭)

高洲江小学校【児童感想まとめ】(回収:76枚)

◆性別

男	42
女	34

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか？5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか？

5	58人	4	12人	3	4人	2	0人	1	2人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・楽しかったですか？

5	61人	4	13人	3	1人	2	0人	1	1人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか？

5	57人	4	15人	3	4人	2	0人	1	0人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか？(無回答1)

はい	44人	いいえ	13人	どちらでもない	18人
----	-----	-----	-----	---------	-----

◆また参加してみたいですか？(無回答2)

はい	64人	いいえ	3人	どちらでもない	7人
----	-----	-----	----	---------	----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・みんなの気持ちがわかるとサッカーもうまくなると思いました。
- ・ダンスをやって、友達との距離がちぢまった。
- ・友達のいいところを発見できた。
- ・ダンスの楽しみ方を発見できた。
- ・あまりしゃべらない友達との交流があったから、相手の気持ちや性格が少しわかった。
- ・聞いただけでは、しょうもないと思って、やってみたら楽しかった。
- ・みんな楽しそうで見えてわくわくしました。
- ・家に帰って踊ったら、妹が喜んでくれた。
- ・いつも話や遊んでいない人がペアになっていた。
- ・人に見せることは大事だと思った。

◆感想を自由に書いてください

- ・また、みんなと一緒に楽しいダンスをしたいと思いました。
- ・いろんな友達と仲良くなった。
- ・友達の個性を発見した。
- ・またやりたいと思えるほど楽しかった。
- ・あまり話したことのない友達と手をつないだり、話したりできてとても楽しかった。
- ・自分の気持ちを表して踊ることができたし、いろんな人と関わられたので、いい機会だと思った。
- ・いつも休み時間とかに本を読んだり静かな人たちがとても楽しそうだった。

■真壁小学校

レポート「沖縄県糸満市において本事業を実施する必要性」

所属：糸満市立 真壁学校

担当：山川 翔也

1.現状について(ダンス指導の現状について／当該地域の児童生徒の実態について、等)

「本校の児童の実態」

五年生→男子は、元気いっぱいであり、女子は、静かな児童が多い。学級の特徴としては、基本的に人の話をよく聞き、お利口である。

六年生→男女仲が良く、男女で休み時間に過ごすこともある。学習にも意欲的に取り組む児童が多い。運動会で行った表現運動「エイサー」では、恥ずかしがることなく曲に合わせて踊る児童が多かったが、表現を「恥ずかしい」と感じている児童もいた。

教師→高学年担任(二人)は、ダンス未経験であり、指導に不安を抱えている。副読本や動画などを手がかりに指導に当たっている。

今回は、児童に表現することの楽しさや体を動かすことの心地よさを味わってほしいと思い本事業(R4年度)に応募した。

2.本事業を体験して感じたこと(生徒の変容、など)

今回の授業では、「自由」に自分の思いを表現することが多かった。今まで体験したダンス(エイサー)は、決まったフリを覚えるだけだったので、児童には、新鮮に感じたようだった。音楽に合わせて自分の思いを表現することや自分の名前を体全体で表現することに対して初日は「なんでこんなことをしないとイケないのですか」「恥ずかしいです」と言った児童もいたが、日にちを重ねるごとに表情もよくなり「自由」に体を動かしていた。最終日には「ありがとうございますを体で表現したいです」と言うほどに自分の殻を破ることができており感動した。

これも講師の方々が児童に合わせて指導してくれたことだと思い感謝している。ダンス未経験である私たちでは、引き出すことができなかった表情や表現を見ることができ、担任として嬉しく感じた。これからも本事業の継続と発展を願っている。

【教員アンケート】回収枚数:2枚

1.実施した学校について

◆全児童生徒数 157名 ◆全クラス数 9クラス ◆全教員数 12名

2.実施した学級について

◆学年 5・6年 ◆男女比 男子:34名 女子:21名

◆特徴や雰囲気

自分を表現することが苦手な児童が多い。

3.この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

・この学習を通して自己開示できるようになってほしい。この機会に殻を打ち破ってほしい。

4.この事業を実施してどうでしたか?(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・ ペアの活動では、普段消極的な児童も楽しそうに考え、動いていたり表現していたりと活発な姿が見られた。

4-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- 子供たちの豊かな自己表現がみられた。(4【2名】)
- 普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(4【2名】)
- 子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(4【1名】 3【1名】)
- クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(3【1名】 2【1名】)
- 以前より協調性が生まれた。(3【2名】)
- 今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(4【2名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと思われましたか？(下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力(2名)
2. 創造する力(1名)
3. コミュニケーションする力(1名)
4. イメージ(想像)する力(1名)
5. 感動する力
6. 集中する力
7. 協力する力
8. 共感する力
9. 考える力(1名)

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください。

- ・ 授業を周りから見ていて、普段見れない子どもたちの表情をたくさん見ることができて嬉しかった。
- ・ 子どもたちの実態に合わせ、毎回取り組もうとする講師の皆さんの姿にも嬉しく思いました。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(4【2名】)
- いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(4【2名】)
- 今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(4【1名】 3【1名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

1. 週に1回
2. 隔週に1回
3. 月に1回(2名)
4. 学期ごとに1回
5. 半年に1回
6. 1年に1回

6. 本事業が発展するためのアドバイスがあれば、お書きください。

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

回答者名:金城泰貴 他1名(真壁小学校 教諭)

真壁小学校【児童感想まとめ】(回収:25 枚)

◆性別

男	15
女	10

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか？5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか？

5	6人	4	13人	3	5人	2	1人	1	0人
---	----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・楽しかったですか？

5	7人	4	11人	3	4人	2	2人	1	1人
---	----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか？

5	10人	4	11人	3	4人	2	0人	1	0人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか？

はい	10人	いいえ	9人	どちらでもない	6人
----	-----	-----	----	---------	----

◆また参加してみたいですか？

はい	8人	いいえ	5人	どちらでもない	12人
----	----	-----	----	---------	-----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・ダンスにもいろんな形があるんだなと思った。
- ・体のほぐし方を教えてもらい楽になったので、部活でもやりたい。
- ・腰や足首などの関節を大きく動かすことで怪我や筋肉痛が減ると感じた。
- ・体を動かすやり方とか、友達と一緒に何かをする楽しさを発見しました。
- ・運動は苦手な私ですが、こんなにもからだを動かすことができるんだ！！と思いました。
- ・今回ダンスをやってみて、ダンスは楽しいということが分かりました。
- ・普段使わないからだの部分を使ったので、新しい感覚が目覚めた感じがした。
- ・友達のいいところが発見できた。
- ・いつもの体育とは違う体の動かし方を体験した。
- ・身の回りの動きがダンスになる。

◆感想を自由に書いてください

- ・恥ずかしいこともあったけど、自分にもできたので達成感がありました。
- ・体を動かす楽しさとか、表現力を楽しむことができました！
- ・ダンスはあまり好きではないが、こういう風に体を動かすのは楽しいなと思った。
- ・友達と遊ぶのとは違って、違う楽しさがあった。
- ・みんなで行動することが楽しかった。
- ・息を合せば、友達とも同じ動きができることが分かった。
- ・友達と一緒にからだを動かしたりして楽しかった。

■知念中学校

レポート「沖縄県南城市において本事業を実施する必要性」

所属：南城市立知念中学校

担当：國吉 勇多

1.現状について(ダンス指導の現状について／当該地域の児童生徒の実態について、等)

中学校における発達段階において、ダンスの特性や魅力を味わわせることはとても大切だと感じている。一方で、思春期で多感な中学生に対して、人前で踊る恥ずかしさ等々から、授業に対する取り組みが消極的な生徒は少なくない。更に、コロナ禍も重なり、自己開示すること、他者とのコミュニケーション能力が低下しているように感じている。

本校生徒においても、事前指導におけるアンケート調査において、ダンスに対するマイナスなイメージを持った生徒が大半を占めた。主な理由として、「恥ずかしい」、「踊ることが嫌い」、「発表が嫌だ」等々の意見が多く集まった。

その中で、実際に指導する教師側も専門的な知識や実践的な指導力に乏しいケースが多い。教科書や指導書等の教材研究を重ねても、生徒が楽しみながらダンスを踊る授業づくりが難しい現状が多い。

2.本事業を体験して感じたこと(生徒の変容、など)

上記に示した通り、ダンスに対するマイナスなイメージを持った生徒の多くが、本事業終了後には、「楽しかった」という意見が大半を占めた。さらに、時間を重ねるごとに、生徒一人一人が他者と協力し、コミュニケーションを通して、オリジナリティーあふれる作品に仕上がった。体の細部にわたって、感じを込めて踊ったり、表現することの楽しさを感じていたことに、本事業の凄さと魅力を強く感じている。

また、ダンス講師の指導方法も直に学べ、講師とのミーティングやフィードバックなどから、ダンスにおける授業づくりのヒントや参考になるアドバイスが、私自身の指導力向上に大きく繋がっている。今後とも、ぜひ本事業を活用して、ダンスの素晴らしさを指導していきたいと強く感じている。

【教員アンケート】回収枚数:1枚

1.実施した学校について

◆全児童生徒数 135名 ◆全クラス数 7クラス ◆全教員数 14名

2.実施した学級について

◆学年 1年 ◆男女比 男子:15名 女子:23名

◆特徴や雰囲気

おりこうさんで優秀な生徒が多い。

3.この事業に応募した動機やきっかけをお聞かせください。

- ・ダンス指導はとても難しいが、「これってダンスなの」から自然と入っていけるコンテンポラリーダンスの経験があると、中2・中3で現代的なリズムのダンスに入りやすくなると思う。

4.この事業を実施してどうでしたか？(児童の様子について)

4-1 自由にお答えください。

- ・普段あまり目立たない生徒が全身の細部まで、感じを込めて踊ったり表現することを楽しんでた。
- ・生徒同士でアイデアを出したり、それを互いに認め合うことで生徒一人ひとりの自己肯定感が高まっている

と感じた。

- ・ ダンスが楽しいと答える生徒の割合が増えた。

4-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- 子供たちの豊かな自己表現がみられた。(5【1名】)
- 普段に比べて、子どもたちが自発的に参加していた。(5【1名】)
- 子供たちが、自分の行動や発言に自信を持つようになった。(5【1名】)
- クラスの中で、子どもたちの関係性が変化した。(5【1名】)
- 以前より協調性が生まれた。(5【1名】)
- 今まで知らなかった友達の良さや特徴を発見した。(5【1名】)

4-3 このワークショップ(ダンスアーティストによる授業)が、児童生徒のどのような能力を育むことに効果が高いと
思いましたか？(下記の中から当てはまるもの上位3つに○をつけてください)

1. 表現する力(1名)
2. 創造する力(1名)
3. コミュニケーションする力(1名)
4. イメージ(想像)する力
5. 感動する力
6. 集中する力
7. 協力する力
8. 共感する力
9. 考える力

5. この事業を実施してどうでしたか？(先生ご自身について)

5-1 自由にお答えください。

- ・ 思春期の多感な中学生において、ダンスの授業における指導の難しさを感じる中において、専門的な講師によるダンスの指導はとても影響力や効果が高いと感じています。人前で躍ることや表現することに恥かしさを感じる生徒が、最終日には感じを込めて踊ったり、仲間と協力して踊る楽しさを肌で感じる事ができて、本事業には心から感謝しています。

5-2 下記の項目に1～5段階でお答えください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

- ダンスアーティストの考えやワークショップ方法を知ること、
普段の授業に活かすためのヒントを得ることができた。(5【1名】)
- いままで知らなかった子供たちの新たな面を発見した。(5【1名】)
- 今後のクラスの運営に役に立つことを得た。(5【1名】)

5-3 問3-3でお答えいただいたことが、どのくらいの頻度で行えば定着すると思いますか。

1. 週に1回
2. 隔週に1回
3. 月に1回
4. 学期ごとに1回
5. 半年に1回
6. 1年に1回(1名)

6. 本事業が発展するためのアドバイスがあれば、お書きください。

7. アーティスト、又はJCDNへのご意見・ご感想をお書き下さい。

- ・ また、よろしく申し上げます。

回答者名: 國吉勇多(知念中学校 教諭)

知念中学校【生徒感想まとめ】(回収:27 枚)

◆性別

男	14
女	21

◆ダンスのワークショップにしてみても、どうでしたか？5段階で○をつけてください。

(5.とてもそう思う 4.まあそう思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.まったくそう思わない)

・満足しましたか？

5	24人	4	10人	3	1人	2	0人	1	0人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・楽しかったですか？

5	23人	4	12人	3	0人	2	0人	1	0人
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	----

・説明はわかりやすかったですか？

5	28人	4	6人	3	1人	2	0人	1	0人
---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----

◆いつもと違う友達の様子を見つけましたか？

はい	26人	いいえ	1人	どちらでもない	8人
----	-----	-----	----	---------	----

◆また参加してみたいですか？

はい	23人	いいえ	1人	どちらでもない	11人
----	-----	-----	----	---------	-----

◆ダンスに参加して、発見したことをひとつ教えてください。

- ・普段は見れない個人個人の個性があって新しい発見があった。
- ・ダンスは、皆の意見をたくさん合せて作るからこそ、面白いと思った。
- ・ダンスは、自分を表現したり、不ループ内でのコミュニケーションを深めることができる、という発見があった。
- ・人前で踊ることに、創作ダンスだとあまり嫌な気分にはならなかった。
- ・自分の気持ちや雰囲気表現することに楽しさを発見できた。 ・人の性格はダンスに表れる。
- ・ダンスに限らず、生きていく中でコミュニケーションは大切だと、改めて思いました。
- ・みんなでダンスを作れて楽しかったし、いつもより団結力があつたと思いました。
- ・まわりの人を見る、まわりの人と合わせることも大事だと分かりました。
- ・日常的な動きや、何でもない動きをつなげるだけで唯一無二のダンスになることがすごい。

◆感想を自由に書いてください

- ・最初はダンスじゃないみたいだなと思ったけれど、皆で意見を出し合って、最後にはダンスとしてかんせいしていたことに驚きました。
- ・自由な感じでのびのびと踊れたので良かったです。
- ・みんなでやったら、1人の時よりも表現しやすくて、私もしっかり表現できたと思いました。
- ・ダンスは恥ずかしくて苦手だったが、みんなで踊るから、恥ずかしくでも楽しむことができた。
- ・「みんな」で楽しむことができ、それがとてもよかったなと思いました。
- ・動く合図をくれたり、動きをリードする人など、自信を持ってみんなのために動ける人はすごいと思った。
- ・細かな動きがダンスにつながっていると分って、少し感動した。

■知念中記事

琉球新報 2022年12月29日付

日常の動作やしぐさなどを取り入れて創作ダンスを作り、教員らの前で披露する知念中の生徒＝9日、南城市立知念中学校



創作ダンスで個性表現

南城・知念中 JCDNがワークショップ

【南城】南城市立知念中学校（志伊良洋子校長）で7～9日の3日間、プロのコンテンポラリーダンサーを招いて創作ダンス体験のワークショップが開かれた。1年生の体育の授業で実施された。表現力を身に付け、生徒同士のコミュニケーションを深めることなどが目的。最終日の9日には生徒38人がダンスを創作し、同校教員らの前で生徒一人一人が個性豊かに踊った。

ワークショップは、文化庁の事業の一環で、委託先のNPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN）が公募で決めた学校に優秀なダンサーを派遣し、ワークショップを開催する。同校では2020年度に続き2回目。

講師は、愛媛県松山市を拠点に活動するコンテンポラリーダンスカンパニー「ヤミーダンス」の合田緑さんと、県内で活動するダンサーの根岸由季さん、兼城将さんが務めた。生徒らは合田さんらからアドバイスを受けながら、手拍子を取り入れた振り付けや日常的な動作、しぐさなどをダンスに取り入れた。

参加した山内日陽さん（13）は「最初はできるか不安だったけど、みんなでいろんな表現をダンスに入れてとても面白かった」と笑顔で語った。合田さんは「ダンスを完成させたいという集中力を持ちながら、楽しくダンスに打ち込んでくれた」と語った。

ワークショップを企画したJCDNチーフ・コーディネーターの神前沙織さんは「コロナ禍やSNSの発達で、友達同士のコミュニケーションが取りづらくなっている。創作ダンスを一緒に考え、作ることによって自分らしさを表現して、コミュニケーション能力を高めていくと思う」と期待した。（金城実倫）

美ら島だより

ネットワーク

皆様からの情報をお待ちして

■野底小記事

2022年9月9日八重山日報

子どもたちと手をつないでダンスするマニシアさん＝7日、野底小



「思う存分表現して」

野底小でダンス教室

全国各地にダンサーを派遣し、ダンスの普及活動を行うNPO法人、ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN）は7日、石垣市立野底小学校でダンス教室を開いた。

同法人は石垣小、上原小など八重山の各小学校でも活動実績があり、この日はマニシアさん、DAI（タイ）さんら有名パフォーマーが来校、子どもたちにダンスの基本的動きを教えた。

マニシアさんは子どもたちの手をとり、DAIさんの打ち鳴らす太鼓に合わせてダンス。

児童からは「難しい」「マニシアお姉さん上手い」と笑顔があふれ、最後は「うれしい」という感情を、マニシアさんとともにダンスで表現した。

児童会長の6年生・瓜生幸吉君（12）は「エイサー以外で踊ったことがないので楽しかった。みんなの前でも思う存分踊れるようになった」と笑顔。

2学年上の兄の心之介君（10）とともに元気に踊った3年生の石本愛美（まなみ）さん（9）は「先生の身体がやわらかくてすごいと思った。優しい人よかった」と話した。

野底小では9日までの3日間、ダンス教室を行い、最終日は保護者を招いて発表会を開催する予定。マニシアさんは「自分自身で『こんな自分がいたんだ』と分かるのがダンス。思う存分表現してほしい」と呼びかけ、初日を締めくくった。

JCDNは2001年の設立以降、学校での取り組みのほかに東日本大震災復興支援フェスティバルへの参加など、地域に密着した事業を展開している。

全道各地にダンサーを派遣し、ダンスの普及活動を行うNPO法人、ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN）は7日、石垣市立野底小学校でダンス教室を開いた。

同法人は石垣小、上原小など八重山の各小学校でも活動実績があり、この日はマニシアさん、DAI（タイ）さんら有名パフォーマーが来校、子どもたちにダンスの基本的動きを教えた。

マニシアさんは子どもたちの手をとり、DAIさんの打ち鳴らす太鼓に合わせてダンス。

児童からは「難しい」「マニシアお姉さん上手い」と笑顔があふれ、最後は「うれしい」という感情を、マニシアさんとともにダンスで表現した。

瓜生幸吉君（12）は「エイサー以外で踊ったことがないので楽しかった。みんなの前でも思う存分踊れるようになった」と笑顔。

2学年上の兄の心之介君（10）とともに元気に踊った3年生の石本愛美（まなみ）さん（9）は「先生の身体がやわらかくてすごいと思った。優しい人よかった」と話した。

野底小では9日までの3日間、ダンス教室を行い、最終日は保護者を招いて発表会を開催する予定。

マニシアさんは「自分自身で『こんな自分がいたんだ』と分かるのがダンス。思う存分表現してほしい」と呼びかけ、初日を締めくくった。

JCDNは2001年の設立以降、学校での取り組みのほかに東日本大震災復興支援フェスティバルへの参加など、地域に密着した事業を展開している。

定する「ごは許されないと批判する。」

だ。政府は国葬宣言、各府

児童ら楽しくダンス体験

野底小学校

JCDNがワークショップ

NPO法人ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク(JCDN)によるダンス体験ワークショップ



講師の指導の下、楽しくダンスを体験した児童たち＝8日午前、野底小学校体育館

ワークショップが8日、野底小学校(仲皿利治校長、児童21人)で行われ、児童らは太鼓の演奏に合わせて楽しく踊った。

文化庁の文化芸術による子ども育成事業コミュニティ・アクション能力向上事業の一環。

同事業は、ダンスアーティストを全国に派遣するもので、体を使った「コミュニケーション」や創作方法の「ダンス」を通して一人一人の個性を引き出し生きる力を養うとともに多様な価値観や他者との協同などについて学ぶもの。

1年生から6年生までの児童18人は、鬼ごっこなどの遊びを通してダンスの楽しさを体験したり、DAIさんの西アフリカの楽器「ジエンベ」に合わせて三つのグループが違うリズムの手拍子を打ち二つの音楽をつくった。

ダンスのマネシアさんは「最初は恥ずかしがる子どもが多かったが、みな個性を持っている。自分の中にある個性をダンスで表現してほしい」と話した。

町田(なほさん(5年))は「歩いたり動いたりして楽しかった。振り付けも面白かった」と、豊岡優波さん(同)は「ぶつうのダンスと違った。増輪のダンスが楽しかった」と笑顔を見せた。

ワークショップは7日から3日間の日程で行われ、最終日の9日は保護者らを招き、子どもたちとアーティストのつくるダンスの成果を発表する。

天皇陛下がメッセー

世界核医学会開会式

天皇陛下は8日、京都市で開かれた世界核医学会の開会式に、ビデオメッセー

ジを寄せられた。陛下は、核医学がアルツハイマー病などの診断や、がん治療に重要な役割を果たしていると聞いたとし、

「今後この医療分野が世界へ広く普及し、人々の健康増進につながることを期待しています」と述べた。

同会は、核医学研究の発展を図る国際的な学術団体で、4年ごとに各国持ち回りで学術集会を開催。日本では1974年に第1回が開かれ、皇太子夫妻時代の上皇ご夫妻が出席した。

H23 年度以降の実施アンケート・レポートは、
以下のウェブサイトからダウンロード可能です。

<https://cdj.jcdn.org/category/data/s04/>

(コミュニティダンスのすすめ on Web より)

■文化庁 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力向上事業－〈NPO法人等提案型〉」(コーディネート:NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク)

教員レポート/アンケート集計・児童感想まとめ

編集・発行:NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

〒600-8092 京都市下京区神明町 241 オパス四条 503

TEL: 075-361-4685 FAX: 075-361-6225 E-mail: jcdn@jcdn.org

Web <http://www.jcdn.org/> コミュニティダンスのすすめ on Web: <https://cdj.jcdn.org/>